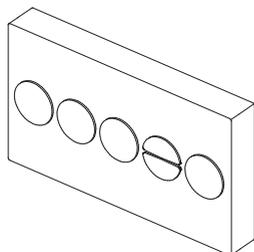
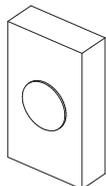




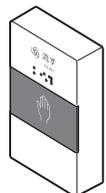
大型壁リモコン (発電式)



洗淨壁リモコン タッチスイッチ (発電式)



洗淨壁リモコン センサースイッチ



説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。

不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

転居される場合、次に入居される方にこの説明書をお渡しください。

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。

ご使用前にシャワートイレ本体の説明書とこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになった後もすぐ取り出せる場所に、大切に保管してください。

本書では、大型壁リモコン (発電式)、洗淨壁リモコン タッチスイッチ (発電式)、洗淨壁リモコン センサースイッチを記載しております。

これ以外の操作方法・安全上の注意・アフターサービスなどは、シャワートイレ本体の取扱説明書をご覧ください。

もくじ

はじめに	1
各部のなまえ	3
ご使用方法	
●基本機能の使いかた (おしり洗淨 / ビデ洗淨) …	5
(リモコン便器洗淨のしかた) …	6
(流水音) …	7
●ご使用前の準備 (温度調節 (温水 / 便座)) …	8
●便利な使いかた (節電 (ステップ節電/ワンタッチ節電)) …	10
(管理者モード設定) …	11
●快適機能の使いかた (お好みの設定に) …	13
(お買上げ時の設定に戻す) …	16
お掃除・お手入れ方法	
●ノズルシャッターの掃除 …	17
●ノズルの掃除 …	19
●ノズル先端の交換 …	21
凍結しそうなとき …	23
長期間使用しないとき …	25
発電式リモコンについて …	26
ペアリング (組合せ) 設定	
●大型壁リモコン (発電式) の登録 (DV-K213型、CW-PA型の場合) …	27
●洗淨壁リモコンタッチスイッチ (発電式) の登録 (DV-K213型、CW-PA型、CW-PB型の場合) …	28
●洗淨壁リモコンセンサースイッチの登録 (DV-K213型、CW-PA型、CW-PB型の場合) …	29
故障かなと思ったら …	30

はじめに

このたびは大型壁リモコン（発電式）、洗淨壁リモコン タッチスイッチ（発電式）、洗淨壁リモコン センサースイッチをお買い求めいただき誠にありがとうございました。発電式リモコンは、操作するたびに発電するので電池不要です。

この取扱説明書は、大型壁リモコン（発電式）、洗淨壁リモコン タッチスイッチ（発電式）、洗淨壁リモコン センサースイッチを有意義に、そして末永くお使いいただくための説明が記載してあります。

■保有機能一覧（機能あり：○、機能なし：－）

リモコン		大型壁リモコン (発電式)	洗浄壁リモコン タッチスイッチ (発電式)	洗浄壁リモコン センサースイッチ
				
保有機能	止	○	－	－
	おしり洗浄	○	－	－
	ビデ洗浄	○	－	－
	流水音	○	－	－
	洗浄強さ (弱…強)	○	－	－
	流す	－	○	○

各部のなまえ

● 大型壁リモコン（発電式）

止

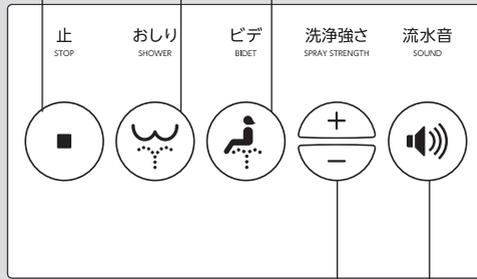
- おしり洗浄 ● ビデ洗浄
- 流水音の動作を止めます。

おしり

おしりを洗うときに使用します。(☞ 5 ページ)

ビデ

ビデ洗浄のときに使用します。(☞ 5 ページ)



洗浄強さ

おしり洗浄、ビデ洗浄の強さを調節します。(☞ 5 ページ)

流水音

シャワートイレ本体から流水音が流れます。(☞ 7 ページ)

〈大型壁リモコン背面の管理者モードスイッチ〉

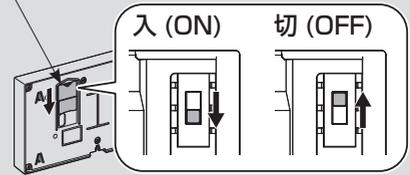
本体の設定変更（**管理者モード**）では、リモコン背面の設定カバーを開けて管理者モードスイッチで操作を行います。

管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

※ 各設定をするときは、設定カバーを開けたまま操作してください。

設定カバー

※ 下にスライドして開きます。



管理者モードスイッチ

● 洗浄壁リモコン

洗浄壁リモコンのみでは各設定ができません。各設定などは、本体の取扱説明書をご覧ください。



【流す】ボタン

便器内洗浄をするときに使用します。(☞ 6 ページ)



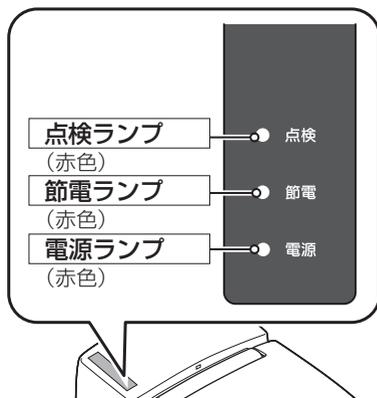
センサー部

便器内洗浄をするときに手をかざします。(☞ 6 ページ)

■表示ランプ位置

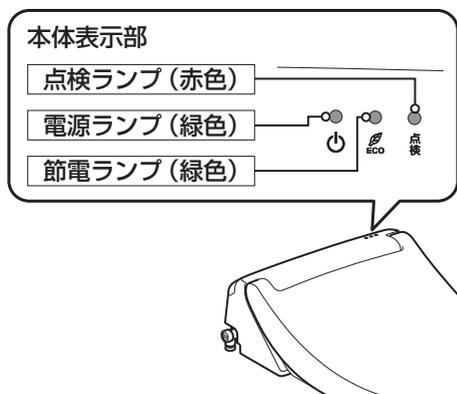
リモコンの各設定をしたとき、本体の表示ランプが運動します。

〈DV-K213 型の場合〉

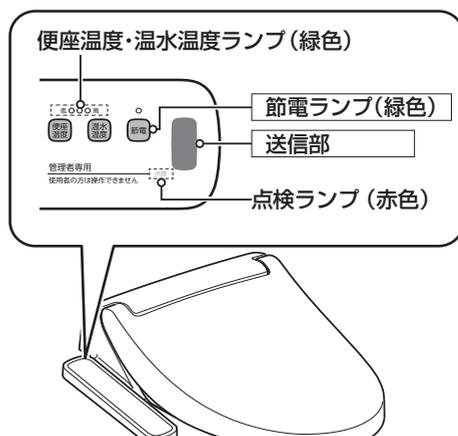


〈CW-PA 型の場合〉

※ 洗浄信号をオートフラッシュCに送信します。



〈CW-PB 型の場合〉



ご使用方法

《基本機能の使いかた》

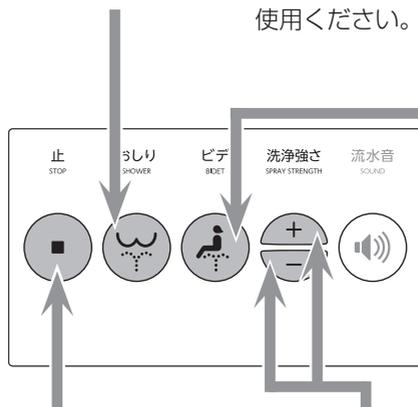
■おしり洗浄 / ビデ洗浄

おしり洗浄

おしり洗浄は排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。

ビデ洗浄

ビデ洗浄は生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。洗浄時間は 10 秒～ 20 秒を目安にご使用ください。



止めるときは【止】を押す

※シャワーは、2 分後に自動的に停止するセルフストップ機構付です。

洗浄強さ【+】または【-】を押してシャワーの強さを調節する

※洗浄強さは 6 段階あります。水勢は「弱」から試し、慣れたら徐々に好みのお好みの水勢でご使用ください。
※洗浄強さの感じ方には個人差があります。

参考 ● おしり洗浄の強さを一番強くしてもまだ弱いと思われる方のために、シャワーの「強」設定をさらに強くする機能が付いています。(P. 14 ページ)

注意

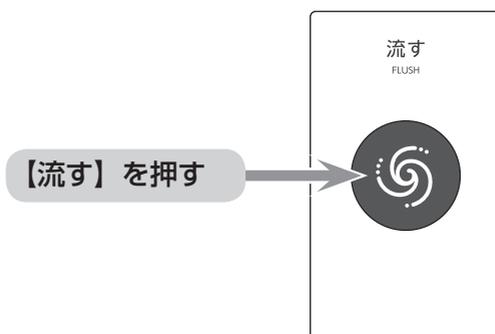
- 給水温度がきわめて低い冬期など、シャワーの洗浄強さが弱くなる場合があります。
- 便座には、深く腰掛けてください。深く腰掛けるとシャワーの飛び散りが少なくなります。
- 長時間の洗浄や洗いすぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。
※ 常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 局所の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

■リモコン便器洗浄のしかた

座った時間の長さで、「50 秒以上：大洗浄」・「50 秒未満：小洗浄」を行います。
(10 秒以上 50 秒未満は小洗浄、それ以外の時間は大洗浄となります。ただし 50 秒未満でも、おしり洗浄を使用した場合は「大洗浄」になります。)

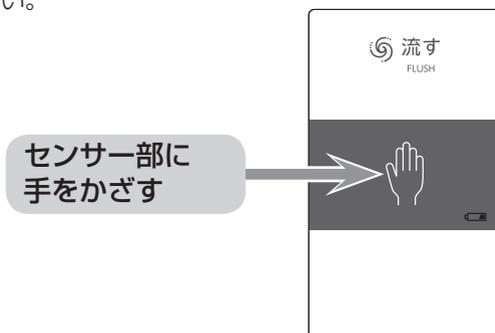
【洗浄壁リモコン タッチスイッチ(発電式)】

リモコンの【流す】を押してください。



【洗浄壁リモコン センサースイッチ】

センサー部から 50mm 以内で約 2 秒
手をかざしてください。



■流水音

シャワートイレ本体から流水音が流れて、利用者のプライバシーを守りながら水のムダ使いを防ぎます。

※ リモコンから流水音は流れません。

オート擬音「入」時は、便座に座ると流水音が自動的に流れ、便座から立ち上がると停止します。

※ お買い上げ時、オート擬音は「入」に設定されています。この設定を「切」に変更できます。設定を変更する場合は 14 ページをご参照ください。

1 リモコンで流水音を再生する

●【流水音】を押す (オート擬音「切」時)

※ ボタンを押すと、シャワートイレ本体から流水音が流れます。

または

●便座に座る (オート擬音「入」時)



2 流水音を止める

●【流水音】の再生中に【流水音】または【止】を押す または

●便座から立ち上がると、約 6 秒後に自動で停止する

※ 「止」を押すか、便座から立ち上がるまで流水音が鳴り続けます。

※ 便座に座り続けると、10 分後に自動停止する「セルフストップ機構付」です。

《ご使用前の準備》

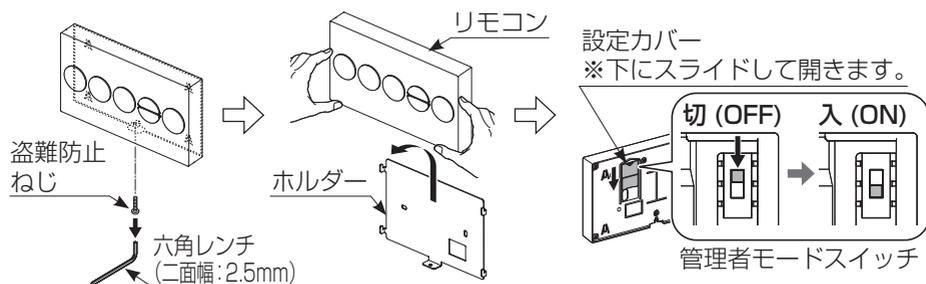
シャワートイレを使用する前に下記の操作をしますと、より快適にご使用になれます。

■温度調節（温水 / 便座）

- ※ 大型壁リモコンを使用してください。
- ※ 洗浄壁リモコンでは「ペアリング（組合せ）設定」以外の設定ができません。
- ※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。（便座に座った状態では操作を受け付けません。）

1 ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする
 ※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

- ※ ホルダーから外すときは、六角レンチ（二面幅：2.5mm）でリモコンを固定している盗難防止ねじを取り外してください。



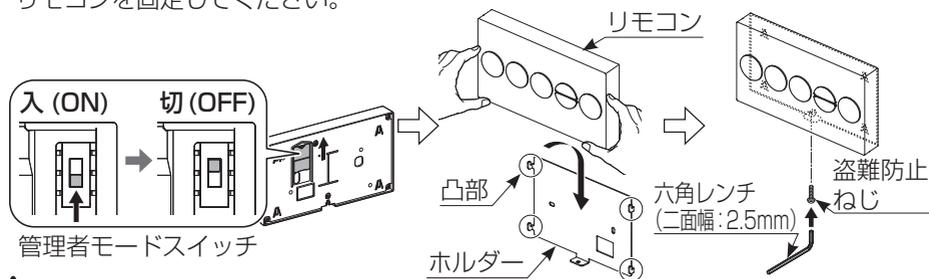
2 温度を設定する

機能	温度を設定する	機能説明
温水 (シャワーの 温めかた)	<p>切</p> <p>低 (約 32°C)</p> <p>中 (約 36°C)</p> <p>高 (約 40°C)</p> <p>DV-K213 型 CW-PA 型 の場合 【電源ランプ】 1 回点滅 （「切」の 場合は 2 回点滅）</p>	温水温度は 4 段階（「切（水温）」、「低（約 32°C）」～「高（約 40°C）」）に切り替えられますので、季節に応じてお好みの温度に設定してください。

機能	温度を設定する	機能説明
便座 (便座の 温めかた)	<p>切 低 (約 28℃) 中 (約 32℃) 高 (約 36℃)</p> <p>DV-K213 型 CW-PA 型 の場合 【電源ランプ】 1 回点滅 〔「切」の 場合は 2 回点滅〕</p>	便座温度は 4 段階 (「切 (室温)」、 「低 (約 28℃)」～「高 (約 36℃)」) に 切り替えられますので、季節に応じてお 好みの温度に設定してください。

3 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める

※ ホルダーに収めたあと、六角レンチ (二面幅: 2.5mm) で盗難防止ねじを取り付けて、リモコンを固定してください。



警告

- 長時間使用するときは、便座温度を「切」にしてください。
- 次のような方が使用されるときには、周りの方が便座温度を「切」にしてください。
〔お子さま、お年寄り、病気の方、ご自分で温度調節のできない方、皮膚の弱い方、睡眠薬など眠気を誘う薬を服用された方、深酒された方、疲労の激しい方〕

※ 「切」以外の温度で長時間使用されますと、低温ヤケドをおこすおそれがあります。



指示実行

参考 ● 座ると自動的に便座ヒーターを切って、低温ヤケドをおこしにくくする“便座ヒーターオート OFF”機能が付いています。(☞ 14 ページ)

ぬれた手でリモコンを操作しないでください。
※故障の原因になります。

《便利な使いかた》

■節電（ステップ節電／ワンタッチ節電）

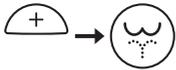
節電機能には**ステップ節電**と**ワンタッチ節電**の2種類があります。

1. **ステップ節電**： トイレを使用しない時間の長さに応じて、温水と便座の温度を段階的に下げていき、長時間不在の場合は、便座と温水のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。
2. **ワンタッチ節電**： 長時間使用しない夜間など、設定を行ってから8時間、温水と便座のヒーターを切にして消費電力を抑える節電です。8時間後、温水温度と便座温度を設定状態に戻し、24時間ごと（毎日同じ時間から）に繰り返します。

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。（便座に座った状態では操作を受け付けません。）

1 ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする
(☞ 11 ページ)
※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

2 節電を設定する

機能	節電を設定する	機能説明
節電	 <p>DV-K213型 CW-PA型 の場合 【電源ランプ】 1 回点滅 （「切」の 場合は 2 回点滅）</p>	節電の設定を切り替えます。 ※ 同じ操作をするたびに、ステップ節電→ワンタッチ節電→切…の順に切り替わります。「切」の設定に戻ると電源ランプが2回点滅します。 （下図参照） お買上げ時の設定 → 切 → ステップ節電 → ワンタッチ節電 2 回点滅 1 回点滅 1 回点滅

3 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める
(☞ 12 ページ)

■管理者モード設定

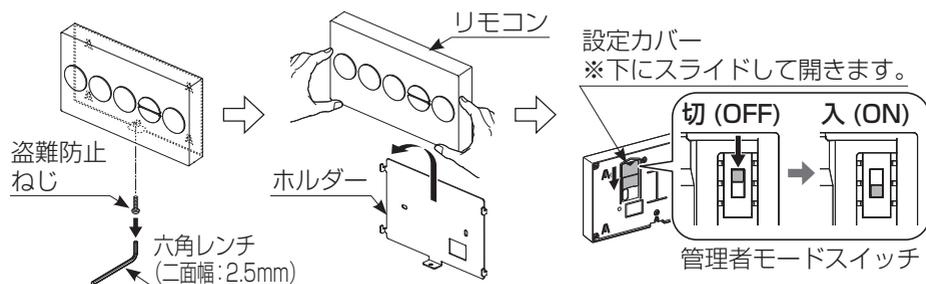
各機能の設定を変更する場合は、お客さまによる誤操作防止のため、管理者モード設定に入ってからそれぞれの操作を行う必要があります。管理者モードでの操作の流れは、以下のとおりです。

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。（便座に座った状態では操作を受け付けません。）

1 ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする

※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

※ ホルダーから外すときは、六角レンチ（二面幅：2.5mm）でリモコンを固定している盗難防止ねじを取り外してください。



2 ① を 2 回押して、管理者モード設定に入る

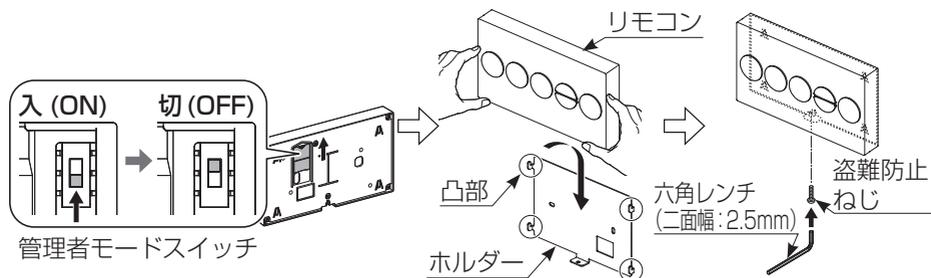
※ DV-K213 型 ,CW-PA 型の場合：本体表示部の電源・節電ランプが交互に点滅を繰り返します。

3 機能の設定をするリモコンボタンを押す (☞ 13 ページ)

※ DV-K213 型 ,CW-PA 型の場合：本体表示部の電源・節電ランプが点滅します。

4 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める

※ ホルダーに収めたあと、六角レンチ（二面幅：2.5mm）で盗難防止ねじを取り付けて、リモコンを固定してください。



5 を押して、通常モードに戻る

※ 1～3の途中で動作をやめてしまった場合は、通常の状態に戻ります。

《快適機能の使いかた》

■お好みの設定に

各機能の設定を変更することができます。

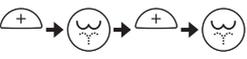
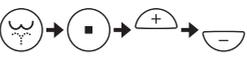
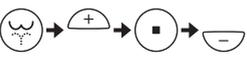
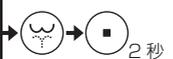
管理者モード設定中、モードを切り替えるリモコンボタンを押すことで機能の設定を変更することができます。

※機種によっては、一部機能がない場合があります。

※便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)

1 ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする
(☞ 11 ページ)
※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

2 管理者モード設定に入り、機能の設定をする

機能	① 管理者モード設定に入る	➡	② 機能の設定をする	機能説明
ノズル そうじ	 × 2			ノズルが伸びてきて、ノズルシャッターやノズルを掃除できます。 ※ 製品により動作が異なります。
脱臭 入 / 切 ^{※1}	 × 2			自動的に脱臭をする機能の「入 / 切」を変更できます。
電源 入 / 切 ^{※1}	 × 2			トイレ本体の電源の「入 / 切」を変更できます。
フルオート 便器洗浄 入 / 切 ^{※1}	 × 2			フルオート便器洗浄の「入 / 切」を変更できます。
フルオート便器 洗浄時間 10s	 × 2			フルオート便器洗浄の、立ち上がってから洗浄するまでの開始時間を変更できます。
フルオート便器 洗浄時間 15s				
フルオート便器 洗浄時間 2s				
フルオート便器 洗浄時間 6s				

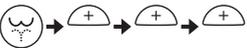
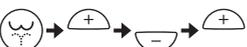
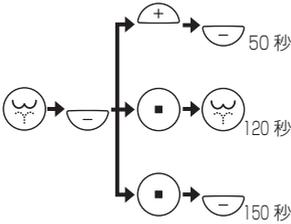
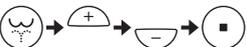
DV-K213 型
CW-PA 型の場合
【節電ランプ】
と
【電源ランプ】
2 回同時点滅

交互点滅
繰り返し

DV-K213 型
CW-PA 型の場合
【節電ランプ】
と
【電源ランプ】
1 回同時点滅^(※2)

交互点滅
繰り返し

※ 1 :
①②の操作を繰り返すと、機能が「入 / 切」と切り替わります。
※ 2 :
お買上げ時の設定に戻すと、2 回同時点滅します。

機能	① 管理者モード設定に入る	➡	② 機能の設定をする	機能説明	
洗浄強さをさらに強く入/切 ^{※1}	 × 2			おしり洗浄の洗浄強さ「強(6段階の6番目)」を、さらに1段階強くすることができます。	
便座ヒーターオートオフ入/切 ^{※1}	 × 2			便座に座ると自動的に便座ヒーターが「切」になり、低温ヤケドを起こしにくくします。 ※ この機能を使用中に連続で使用すると便座がぬるく感じるときがあります。 ※ 立ち上がると自動的に復帰して、設定した便座温度まで暖めます。	
フルオート便器洗浄大小/大切替 ^{※1}	 × 2	DV-K213型 CW-PA型の場合 【節電ランプ】と 【電源ランプ】 2回同時点滅		DV-K213型 CW-PA型の場合 【節電ランプ】と 【電源ランプ】 1回同時点滅 ^(※2)	便座に座った時間の長さによらず、大洗浄のみを行うよう切り替えることができます。
便器洗浄大小判定=50s		交互点滅 繰り返し	 <p>※1: ①②の操作を繰り返すと、機能が「入⇔切」と切り替わります。 ※2: お買上げ時の設定に戻すと、2回同時点滅します。</p>	大小洗浄は、便座に座ってから約50秒を大洗浄、約50秒未満を小洗浄と判定します。この判定時間を、約120秒、または約150秒に変更できます。	
便器洗浄大小判定=120s	 × 2				
便器洗浄大小判定=150s	 × 2				
フルオート便器洗浄大小回転方向切換 ^{※1}	 × 2			〈フルオート便器洗浄ユニット付の場合〉 便器洗浄ユニットの回転方向を逆にします。	
流動入/切 ^{※1}	 × 2			冬期などの冷え込みが厳しい場合、6分間隔で便器を洗浄し、凍結を防止します。(☞ 24ページ)	
オート擬音入/切 ^{※1}	 × 2			オート擬音の「入/切」を変更できます。	

機能	① 管理者モード設定に入る	➡	② 機能の設定をする	機能説明
流水音量 大きく	 × 2	 →  →  →  × 2	 →  →  →  × 2	オート擬音の開始音量を変更できます。 ※ 音量調整は 6 段階です。お買い上げ時は音量 4 に設定されています。 ※ 2 段階以上音量を変更する場合は、2 回目以降②の操作を 1 回ずつ行ってください。
流水音量 小さく				
タイムスタンプ表示 入/切 ^{※1}	 × 2	 →  →  → 	DV-K213 型 CW-PA 型の場合 【節電ランプ】 と 【電源ランプ】 2 回同時点滅 ↓ 交互点滅 繰り返し	点検時期お知らせ表示機能「入」「切」の切替ができます。
タイムスタンプ 一時非表示 ※1	 × 2			
設備保護洗浄 洗浄期間 24h ごと / 8h ごと	 × 2	 →  →  → 	 →  →  → 	一定時間洗浄が行われない場合、自動的に大洗浄が行われる機能です。この洗浄期間を 8 時間ごと、24 時間ごとに切り替えることができます。 ※ 同じ操作をするたびに、8 時間ごと、24 時間ごとに切替ができます。
設備保護洗浄 切	 × 2			設備保護洗浄なしに変更できます。 ※ ただし設備保護洗浄を行わないと、トイレの配管の詰まりを起こすおそれがあります。

3 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める
(☞ 12 ページ)

4  を押して、通常モードに戻る

■お買上げ時の設定に戻す

各機能の設定を変更した場合でも、お買上げ時の設定に戻すことができます。

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)

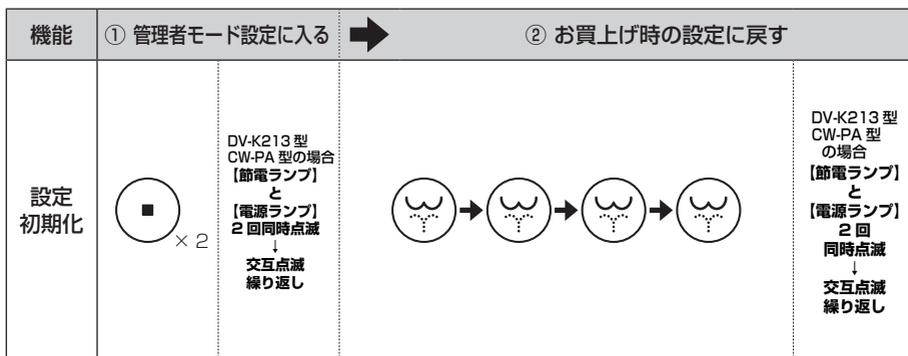
1

ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする
(☞ 11 ページ)

※管理者モードスイッチを【入】にしないと、設定変更用のリモコン信号が発信されません。

2

管理者モード設定に入り、お買上げ時の設定に戻す



3

管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める
(☞ 12 ページ)

4

 を押して、通常モードに戻る

《お買上げ時の設定は》

お買上げ時の設定はシャワートイレ本体の取扱説明書をご確認ください。

各機能の設定を変更した後、お買上げ時の設定に戻した場合、2-②の操作完了時、本体表示部の電源・節電ランプが2回点滅します。

《変更した設定の記憶について》

「快適機能の使いかた」などで設定を変更した場合、トイレ本体の電源プラグを抜いたり、電源を「切」にしても変更した設定は記憶されています。

(ステップ節電、ワンタッチ節電は電源プラグを抜くと設定がリセットされます。)

※ 機種によっては、一部機能がない場合があります。

お掃除・お手入れ方法

大型壁リモコン（発電式）を操作するお掃除・お手入れ方法のみを記載しています。他の部分は本体の取扱説明書の「お掃除・お手入れ方法」をご覧ください。

《ノズルシャッターの掃除》

ノズルシャッターを取り外し、掃除することができます。

柔らかい布やスポンジに中性洗剤を染み込ませ、水またはぬるま湯で拭いてください。

ノズルシャッターの取外し

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。（便座に座った状態では操作を受け付けません。）

① フルオート便器洗浄を「切」にする。（☞ 13 ページ）

※ 「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

② 便フタ・便座を開く。

③ ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする。（☞ 11 ページ）

④  を 2 回押してから、 の順に押す。（☞ 13 ページ）

※ ノズルが本体に収納されたまま、ノズル付近から約 3 秒間水が出て、ノズルを洗浄します。その後おしりノズルが少し伸び出します。

⑤ 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める。（☞ 12 ページ）

※ このときリモコンの  を押さないでください。ノズルが戻ってしまい、ノズルシャッターが外せなくなります。

⑥ ノズルシャッターを両手で斜め上に引っ張り、取り外す。

⑥



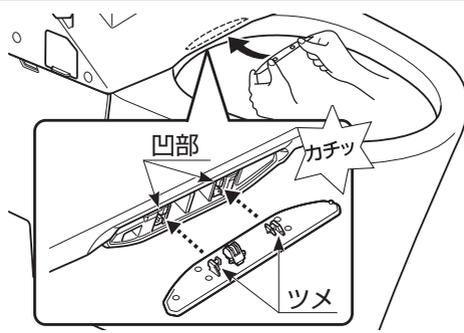
⑦  を押して、通常モードに戻る。

※ 伸び出ているおしりノズルが戻ります。

⑧ 取り外したノズルシャッターを掃除する。

ノズルシャッターの取付け

- ① ノズルが伸び出ていない状態で、ノズルシャッターのツメ (2カ所) をベース面の凹部に強く押し込む。
- ※ ベース面に沿わせて“カチッ”と音がするまで押し込んでください。
 - ※ ノズルが伸び出ている場合には、再度「ノズルそうじ」の設定をしてください。
(☞ 13 ページ)



- 注意**
- “カチッ”と音がするまで押し込んでください。
また、シャッターが正しく取り付けられたことを確認してください。
 - シャッターには、上下の向きがあり、決まった方向にしか取付けできません。
 - 無理な力を加えないでください。
※ 破損するおそれがあります。

《ノズルの掃除》

ノズルのお掃除のしかた

日頃のお掃除時、ノズルを電動で伸ばし、しつこい汚れをスポンジなどで落とせます。

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)

① フルオート便器洗浄を「切」にする。(☞ 13 ページ)

※ 「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

② 便フタ・便座を開く。

③ ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする。(☞ 11 ページ)

④  を 2 回押してから、 →  →  →  の順に押す。(☞ 13 ページ)

※ ノズル付近から約3秒間水が出た後、おしりノズルが伸び出ます。

このとき、シャワーは噴出しません。

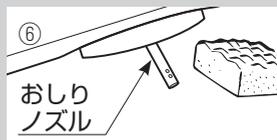
⑤ 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める。(☞ 12 ページ)

⑥ おしりノズルを掃除する。

※ 約5分たつと、ノズルは自動で戻ります。

途中でおしりノズルが戻った場合、 → 

→  →  の順に押してください。再度、おしりノズルが伸び出ます。



〈ビデノズルを掃除したい場合〉

⑦  →  →  →  の順に押す。(☞ 13 ページ)

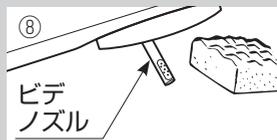
※ おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸び出てきます。

⑧ ビデノズルを掃除する。

※ 約5分たつと、ノズルは自動で戻ります。

途中でビデノズルが戻った場合、 →  → 

→  の順に押す操作を必ず2回行ってください。



⑨  を押して、通常モードに戻る。

※ ビデノズルが戻ります。

注意

ノズルに強い力をかけないでください。

※ 故障の原因になります。

ノズルを無理やり手で引っ張り出したり、押し戻したりしないでください。

※ ノズルが引っこまなくなり、故障の原因になります。

もし、誤って引っ張り出したり、押し戻したりした場合は、電源プラグをコンセントから抜き、10秒ほど待ってから再び、電源プラグを差し込んでください。

歯ブラシでこすらないでください。

※ キズが付く原因になります。

《ノズル先端の交換》

ノズル先端の汚れが落ちない場合は、先端のみ交換することができます。

※ 別売品の購入方法についてはシャワートイレ本体の取扱説明書「別売品のご案内」をご覧ください。

ノズル先端の取外し

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)

①フルオート便器洗浄を「切」にする。(☞ 13 ページ)

※ 「切」にしないと人を検知して、勝手に水が流れる場合があります。

②便フタ・便座を開く。

③ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする。(☞ 11 ページ)

④  を 2 回押してから、 →  →  →  の順に押す。(☞ 13 ページ)

※ ノズル付近から約 3 秒間水が出た後、おしりノズルが伸び出ます。

このとき、シャワーは噴出しません。

⑤管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める(☞ 12 ページ)

《ビデノズルを交換したい場合》

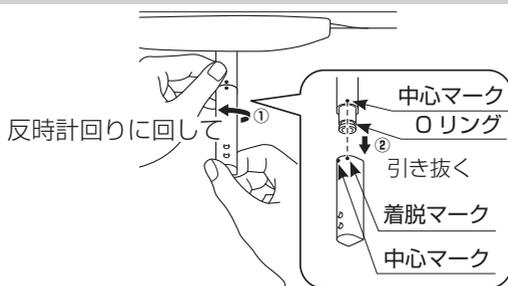
 →  →  →  の順に押す操作を 2 回繰り返す。

※ おしりノズルが戻り、替わってビデノズルが伸び出てきます。

⑥ ノズル先端を反時計回りに回し「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体中心マーク」を合わせて、引き抜きます。

※ 少しノズルを引っ張り出し、ノズルの奥側を手で押えて取り外してください。

⑥



※ ノズルが停止している間に「ノズル先端の取付け」(☞ 22 ページ)の手順にしたがって新しいノズルに交換してください。

注意 着座中は、ノズル先端の交換をすることができません。

取り外す際、陶器部などで、手をぶつけないよう注意してください。

Oリングにキズを付けないよう注意してください。

ノズル先端の取付け

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)

※ ノズル本体が引っ込んでしまった場合は、もう一度「ノズル先端の取外し」(☞ 21 ページ) ④の操作をしてノズルを出してください。

- ① 「ノズル先端右側の着脱マーク」と「ノズル本体の中心マーク」を合わせて、奥までしっかり差し込み、ノズル先端を動かなくなるまで時計回りに回します。
※ ノズルの奥側を手で押えて取り付けてください。

注意

ノズル本体のOリングをキズつけないようにしてください。

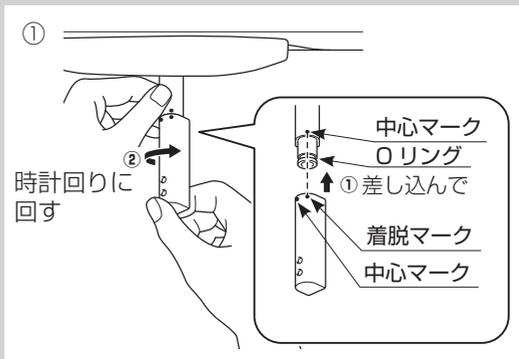
※ 漏水の原因になります。

- ② ノズル本体とノズル先端側の結合部を確認してください。

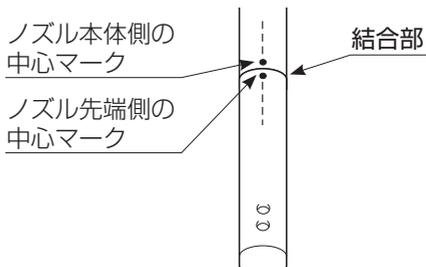
注意

取付後、ノズル本体側とノズル先端側の「中心マーク」が合っていること、また「結合部」が平らになっていることを確認してください。

※ 故障するおそれがあります。またシャワー洗浄の角度が変わってしまうおそれがあります。



②



- ③  を押して、通常モードに戻る。

※ ビデノズルが戻ります。

注意

ノズルは、おしり用とビデ用があります。お間違えのないよう注意してください。ノズル先端は、穴が開いている方が上になるように取り付けてください。

凍結しそうなとき

冬期などの冷え込みが厳しい場合、シャワートイレ内の水が凍って破損することがあります。凍結破損を防止するために以下の作業を行ってください。

室内を暖房できる場合：「温度を高くしてあたためる」をご確認ください
室内を暖房できない場合：「自動で水を流す」もしくは「配管や本体などから水を抜く」をご確認ください。

(電源プラグはコンセントから抜かず、電源を入れておきます。また、節電機能は解除します。)

温度を高くしてあたためる

- ※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。(便座に座った状態では操作を受け付けません。)
- ① ホルダーから外して裏面の設定カバーを開け、管理者モードスイッチを【入】にする。(☞ 11 ページ)
- ②  →  の順に押す。(☞ 8 ページ)
 - ※ シャワー温度が「高」になります。
- ③  →  の順に押す。(☞ 9 ページ)
 - ※ 便座温度が「高」になります。
- ④ 便フタを閉じる。
- ⑤  →  の順に押す。(☞ 10 ページ)
 - ※ 節電機能が解除になります。
 - ※ 節電機能は、お買上げ時の設定は「切」となっています。節電機能を設定していない場合は、⑤の操作は必要ありません。
 - ※ 節電機能を設定している場合は、電源ランプが2回点滅して「切」になるまで、⑤の操作をしてください。
- ⑥ 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める。(☞ 12 ページ)
- ⑦  を押して、通常モードに戻る。
- ⑧ 室内を暖房します。

自動で水を流す

給水管から便器内へ常に一定量の水を流し、水を動かすことでロータンク、配管、トラップの水の凍結を防ぐ方式です。

①「温度を高くしてあたためる」の①～⑦を行う。(☞ 23 ページ)

〈DV-K213 型の場合〉

②  を 2 回押してから、 →  →  の順に押す。(☞ 14 ページ)

※ 便座から立ち上がった状態で操作をしてください。

(便座に座った状態では操作を受け付けません)

※ 6 分間隔で便器を洗浄し、凍結を防止します。

※ 元の設定に戻すときは再度②を行ってください。

※ 着座中は便器洗浄は行われません。

③ 管理者モードスイッチを【切】にし、設定カバーを閉じてホルダーに収める。(☞ 12 ページ)

④  を押して、通常モードに戻る。

〈CW-PA・PB 型の場合〉

② 便器本体の流動ハンドルを操作する。

※ ロータンク内の水がたえず便器内に流れるようにします。詳しくは、便器の取扱説明書をご覧ください。

配管や本体などから水を抜く

配管内、ロータンク内、本体給水ホースから水を抜いて凍結を防ぐ方式です。

①「温度を高くしてあたためる」の①～⑦を行う。(☞ 23 ページ)

〈DV-K213 型の場合〉

② 本体取扱説明書『凍結しそうなき』の「配管や本体などから水を抜く」の手順を行ってください。

〈CW-PA・PB 型の場合〉

② 本体取扱説明書『凍結しそうなき』の「配管や本体などから水を抜く」**2**以降の手順を行ってください。

警告



指示実行

凍結のおそれがある場合は、必ず凍結防止操作を行う。

※ 凍結破損により火災・室内浸水の原因になります。

長期間使用しないとき

長期間使用しないときは、止水栓を閉め、水抜きを必ず行い、電源を抜いてください。

(故障発生時に被害が大きくなるおそれがあります)

※ 詳しくはシャワートイレ取扱説明書「長期間使用しないとき」をご覧ください。

発電式リモコンについて

● 発電式リモコンの使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のお客さま相談センターにご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のお客さま相談センターにお問い合わせください。

● 機器認定

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- ・本機内蔵の無線装置を分解 / 改造する
- ・本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルをはがす

● 使用制限

日本国内でのみ使用できます。

● 電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはできるだけ離してください。

- ・電子レンジ
- ・無線 LAN 機器
- ・Bluetooth[®] 対応機器
- ・その他 2.4GHz 帯の電波を使用する機器の近く
（デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）
- ・埋込型除細動器（心臓ペースメーカー）を装着されている方は、埋込部位の 22cm 以内にリモコンを近づけないでください。

ペアリング (組合せ) 設定

《大型壁リモコン(発電式)の登録》



すでにリモコンがご使用できる場合は、設定は必要ありません。

リモコンが操作できない (リモコンボタンを押しても、本体の表示ランプが点滅しない) ときは、ペアリング (組合せ) 設定を行ってください。

※ トイレ本体とリモコンは、あらかじめペアで登録されていますので、同梱以外のペアで取付けると作動しません。

※ 同梱以外のリモコンで取り付けてしまったり、誤った操作によりリモコンが使用できなくなった場合は、以下の手順で登録し直してください。

下記の操作手順を、必ず最後まで一読してから、操作を行ってください。

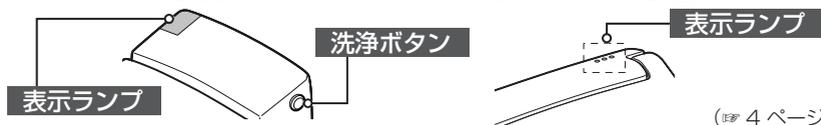
■ DV-K213 型 , CW-PA 型の場合

※ リモコンはホルダーに収めた状態で設定してください。

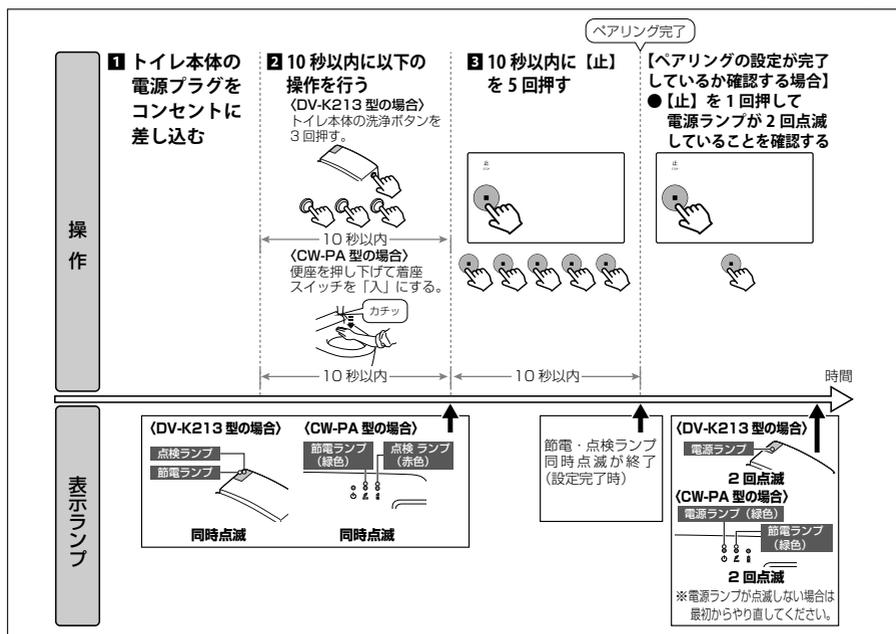
管理者モードスイッチを【入】にした状態で設定を行うと、異なる設定になる場合があります。必ず管理者モード用スイッチを【切】にして操作してください。

● DV-K213 型の場合

● CW-PA 型の場合



(参考 4 ページ)



《洗浄壁リモコン タッチスイッチ (発電式) の登録》



すでにリモコンがご使用できる場合は、設定は必要ありません。

リモコンが操作できない (リモコンボタンを押しても、本体の表示ランプが点滅しない) ときは、ペアリング (組合せ) 設定を行ってください。

※ トイレ本体とリモコンは、あらかじめペアで登録されていますので、同梱以外のペアで取付けると作動しません。

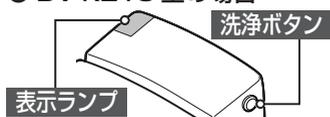
※ 同梱以外のリモコンで取り付けてしまった場合は、以下の手順で登録し直してください。

下記の操作手順を、必ず最後まで一読してから、操作を行ってください。

■ DV-K213 型, CW-PA 型, CW-PB 型の場合

※ リモコンはホルダーに収めた状態で設定してください。

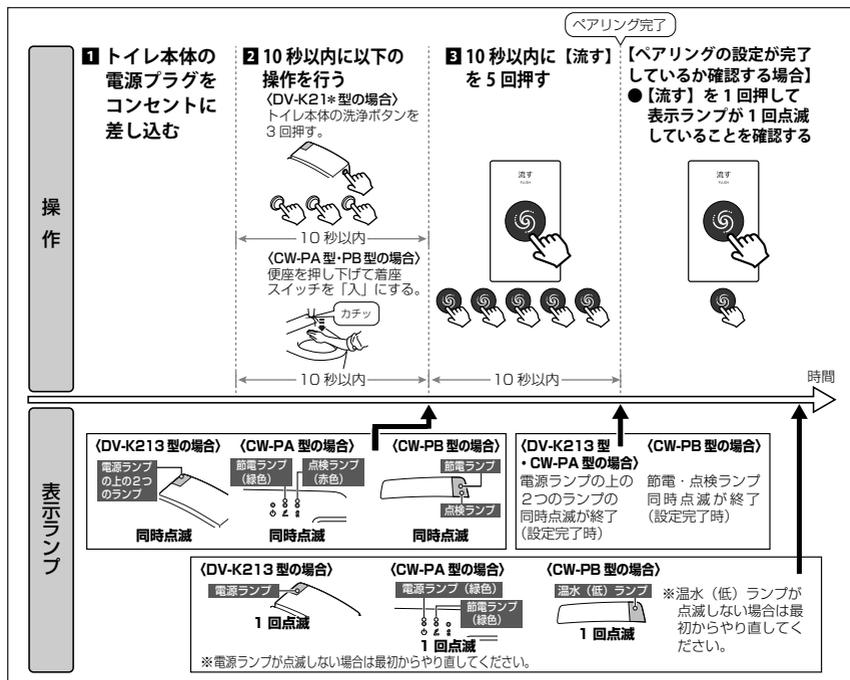
● DV-K213 型の場合



● CW-PA 型の場合



● CW-PB 型の場合



《洗浄壁リモコン センサースイッチの登録》



すでにリモコンがご使用できる場合は、設定は必要ありません。

リモコンが操作できない（リモコンボタンを押しても、本体の表示ランプが点滅しない）ときは、ペアリング（組合せ）設定を行ってください。

※ トイレ本体とリモコンは、あらかじめペアで登録されていますので、同梱以外のペアで取付けると作動しません。

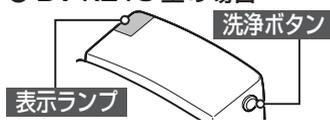
※ 同梱以外のリモコンで取り付けてしまった場合は、以下の手順で登録し直してください。

下記の操作手順を、必ず最後まで一読してから、操作を行ってください。

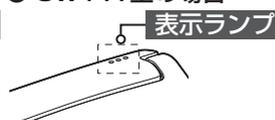
■ DV-K213 型, CW-PA 型, CW-PB 型の場合

※ リモコンはホルダーに収めた状態で設定してください。

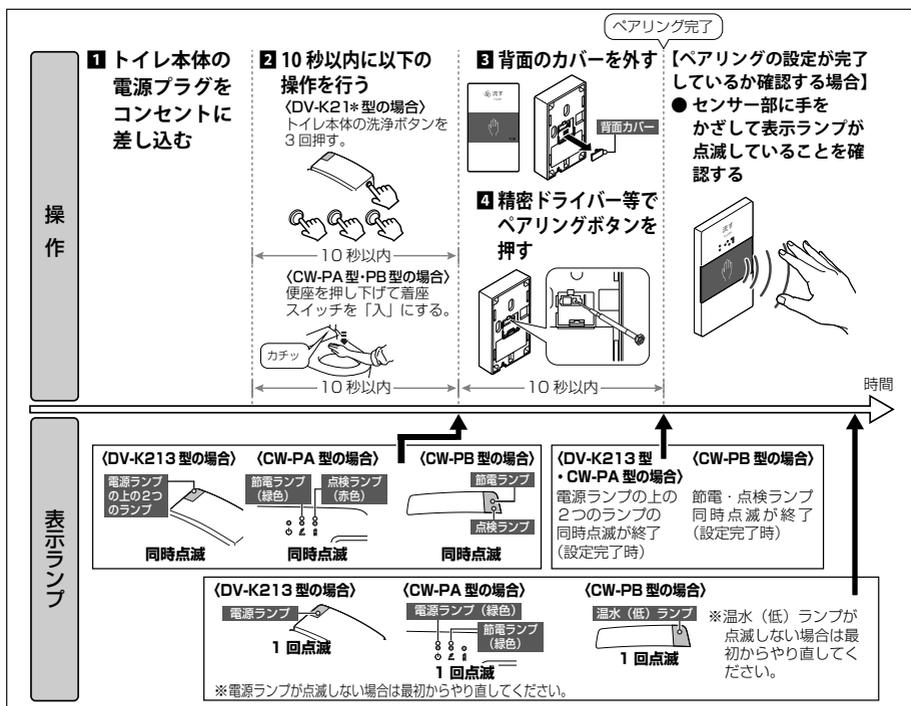
● DV-K213 型の場合



● CW-PA 型の場合



● CW-PB 型の場合



故障かなと思ったら

発電式リモコンに関わる内容のみ記載しております。必ず本体の取扱説明書もご覧ください。簡単に故障が直る場合がありますので、修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。確認しても故障が直らない場合は、お求めの取扱店または LIXIL 修理受付センターにご相談ください。

現象	原因	処置
リモコンのボタンを押しても動作しない (シャワートイレ本体の電源ランプは点灯している)	シャワートイレやリモコンの近くに金属物を置いていませんか。	金属物を移動してください。
	同梱以外のリモコンを取り付けていませんか。(シャワートイレ本体とリモコンはあらかじめ登録されていますので、同梱以外のペアで取り付けると作動しません。)	リモコンのペアリング設定をし直してください。 (☞ 27、28、29 ページ)
	誤った操作によりリモコンのペアリングが解除されていませんか。	
	〈大型壁リモコンの場合〉 裏面の設定カバーが開いている。または管理者モード用スイッチが【入】になっていませんか。	管理者モード用スイッチを【切】にして設定カバーを閉じないと、各操作ができません。
水が勝手に流れる	シャワートイレを併設していませんか。	他のブースの自社の赤外線リモコンを受信している場合があります。赤外線を受信を解除してください。
シャワーが勝手に出る		※ 解除方法は発電式リモコン施工説明書の「併設されたシャワートイレの誤作動を防ぐために」をご覧ください。

株式会社 LIXIL

ホームページアドレス <https://www.lixil.co.jp/>

使い方・お手入れ方法など、商品についてのお問合せは

お客さま相談センター

TEL ☎ 0120-179-400

FAX ☎ 0120-179-430

受付時間 平日 9:00～18:00

土・日・祝日 9:00～17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは、携帯電話・PHS・IP電話などではご利用になれない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL : 0562-40-4050

FAX : 0562-40-4053

修理のご依頼は

LIXIL修理受付センター

※ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等は緊急時のみの修理対応となります。

■WEBサイトからの修理依頼はこちら



リクシル修理

<https://www.lixil.co.jp/support/>

■お電話からの修理依頼はこちら

受付時間/9:00～19:00

TEL.0570-011-794

FAX. ☎ 0120-179-456

※PHS・IP電話等でつながらない場合は、下記番号をご利用ください。

TEL. ☎ 0120-179-411

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

取扱店